[マンスリーレポート]

2024年3月31日

上場インデックスファンド中国A株（パンダ）E Fund CSI300（1322）

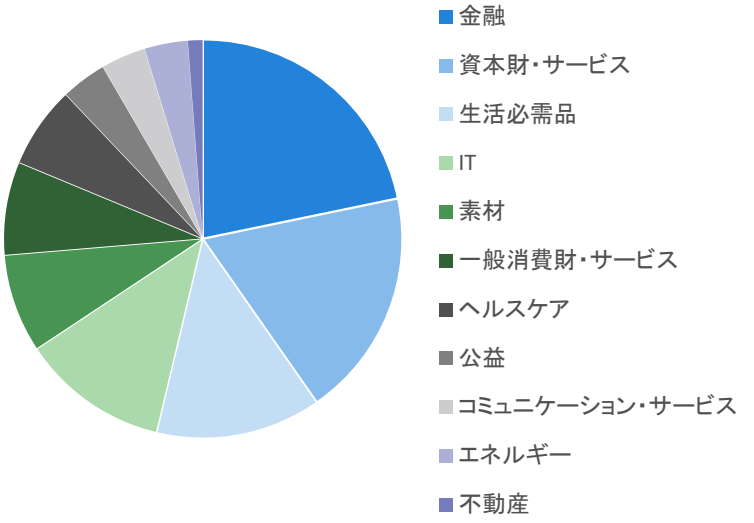
＜上場パンダ（愛称） 追加型投信/海外/株式/ETF/インデックス型＞

＜投資方針＞

主として、円換算したCSI300指数の動きに連動する投資成果をめざす投資信託証券に投資を行なうことにより、中国の金融商品取引所に上場されている投資信託証券およびCSI300指数に採用されている銘柄の株式を実質的な投資対象とし、円換算した同指数の動きと基準価額が高位に連動することをめざします。

※CSI300指数は、上海証券取引所（中国語名称「上海证券交易所」）および深セン証券取引所（中国語名称「深セン证券交易所」）に上場されている全A株のうち、時価総額および流動性の高い300銘柄で構成されており、中国の株価を代表する指数です。指数の算出方法は、浮動株比率を調整した時価総額加重平均方式です。基準時を2004年12月31日とし、その日の時価総額を1,000として、その後の時価総額を指数化したものです。

連動対象指数セクター配分（GICS）



連動対象指数セクター配分（GICS）	比率
金融	21.75%
資本財・サービス	18.55%
生活必需品	13.43%
IT	11.96%
素材	7.99%
一般消費財・サービス	7.58%
ヘルスケア	6.65%
公益	3.71%
コミュニケーション・サービス	3.64%
エネルギー	3.54%
不動産	1.20%

※ 連動対象指数の投資状況です。 ※ 比率は連動対象指数組入銘柄の時価総額合計を分母として計算しています。

ファンドの騰落率

累積騰落率	基準価額	ベンチマーク
年初来	8.18%	8.35%
1ヵ月	2.11%	2.09%
3ヵ月	8.18%	8.35%
6ヵ月	-2.39%	-2.38%
1年間	-3.83%	-6.01%
設定来	51.30%	37.40%
年間騰落率		
2023	-5.36%	-7.37%
2022	-14.72%	-16.72%
2021	11.90%	9.61%
2020	29.27%	26.90%
2019	30.40%	30.33%

ファンド情報

設定日	2008年4月7日
上場日	2008年4月11日
上場市場	東京証券取引所
信託期間	無期限
売買単位	10口
決算日	年1回（1月20日）
Bloombergコード	1322 jp equity
iNAVコード	1322jpiv index
連動対象指数コード	SHSZ300 INDEX

運用状況

純資産総額	22.6 億円
基準価額（1口当たり）	7,565 円
信託報酬率	0.500% （税込0.530%）

分配金実績

分配金実績	分配金（1口当たり）
2024年1月20日	0円00銭
2023年1月20日	0円00銭
2022年1月20日	0円00銭
2021年1月20日	0円00銭
2020年1月20日	0円00銭

連動対象指数上位銘柄

連動対象指数上位銘柄	比率
Kweichow Moutai Co Ltd	5.96%
Contemporary Amperex Technology Co., Limited.	2.80%
Ping An Insurance (Group) Company of China Ltd	2.45%
China Merchants Bank Co Ltd	2.22%
Midea Group CO., LTD	1.76%
Wuliangye Yibin Co Ltd	1.66%
Zijin Mining Group Co Ltd	1.55%
China Yangtze Power Co Ltd	1.36%
Industrial Bank	1.28%
Jiangsu Hengrui Medicine Co Ltd	1.15%

※ 連動対象指数の投資状況です。
※ 比率は連動対象指数組入銘柄の時価総額合計を分母として計算しています。
※ 個別の銘柄の取引を推奨するものではありません。
※ 上記銘柄については将来の組入れを保証するものではありません。

※ グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

■当資料は、投資者の皆様に「上場インデックスファンド中国A株（パンダ）E Fund CSI300」へのご理解を高めていただく事を目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

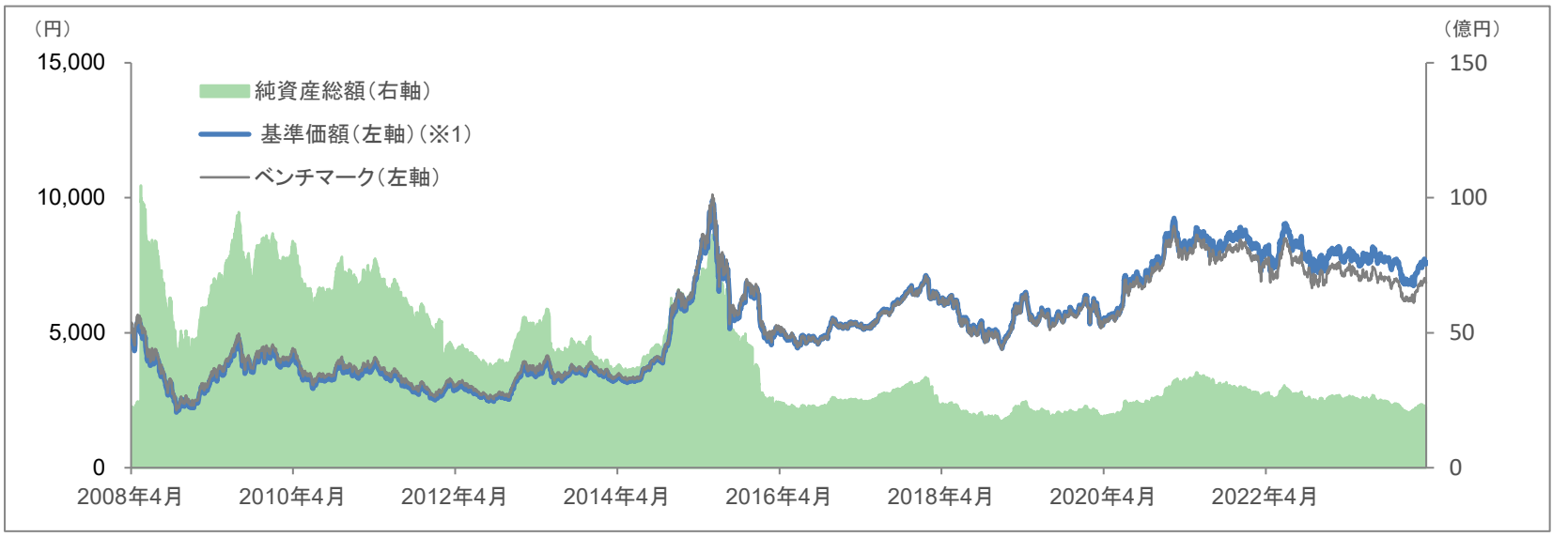
［マンスリーレポート］

2024年3月31日

上場インデックスファンド中国A株（パンダ）E Fund CSI300（1322）

＜上場パンダ（愛称） 追加型投信/海外/株式/ETF/インデックス型＞

基準価額と純資産総額の推移 （2008/4/7 - 2024/3/31）



※1 信託報酬控除後の基準価額を表示しています。
※ グラフおよびデータは過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。
※ ベンチマークは、グラフの始点の基準価額に合わせて指数化しております。

手数料等の概要

お客様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜投資者が直接的に負担する費用＞

●購入時手数料　**販売会社が独自に定める額**
※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※購入時手数料は、商品および関連する投資環境の説明や情報提供など、ならびに購入に関する事務コストの対価です。

●換金時手数料　**販売会社が独自に定める額**
※詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※換金時手数料は、換金時の事務手続きなどに係る対価です。

●信託財産留保額　**換金時の基準価額に対し0.6%**

＜投資者が信託財産で間接的に負担する費用＞

●運用管理費用（信託報酬）　当ファンド：ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.165%（税抜0.15%）以内（有価証券届出書提出日現在、税抜0.15%）
運用管理費用は、日々計上され、毎期末または信託終了のときに、信託財産から支払われます。
投資対象とする投資信託証券：純資産総額に対し年率0.365%（税抜0.35%）程度
実質的な負担：**純資産総額に対し年率0.53%（税抜0.50%）程度**
※投資対象とする投資信託証券の組入比率や当該投資信託証券の変更などにより変動します。

●その他費用・手数料　**ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額**
諸費用（目論見書の作成費用など）　目論見書の作成および交付に係る費用、監査費用、ファンドの上場に係る費用、「CSI300指数」の標章使用料などは、委託会社が定めた時期に、信託財産から支払われます。
※監査費用は、監査法人などに支払うファンドの監査に係る費用です。
売買委託手数料など　組入有価証券の売買委託手数料、資産を外国で保管する場合の費用、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。
※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することはできません。

※投資家の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

投資リスク

当ファンドの投資にあたっては、主に以下のリスクを伴ないます。お申込みの際は、当ファンドのリスクを十分に認識・検討し、慎重に投資のご判断を行なっていただく必要があります。

● 基準価額の変動要因

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、市場取引価格または基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。
当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

■当資料は、投資者の皆様に「上場インデックスファンド中国A株（パンダ）E Fund CSI300」へのご理解を高めていただく事を目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

［マンスリーレポート］

2024年3月31日

上場インデックスファンド中国A株（パンダ）E Fund CSI300（1322）

＜上場パンダ（愛称） 追加型投信/海外/株式/ETF/インデックス型＞

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】
- 株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて価格変動が大きくなる傾向があり、基準価額にも大きな影響を与える場合があります。
- 公社債は、金利変動により価格が変動するリスクがあります。一般に金利が上昇した場合には価格は下落し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。ただし、その価格変動幅は、残存期間やクーポンレートなどの発行条件などにより債券ごとに異なります。

【流動性リスク】
- 市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。
- 新興国の株式は、先進国の株式に比べて市場規模や取引量が少ないため、流動性リスクが高まる場合があります。

【信用リスク】
- 投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 公社債および短期金融資産の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、公社債および短期金融資産の価格が下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。また、実際にデフォルトが生じた場合、投資した資金が回収できないリスクが高い確率で発生します。

【為替変動リスク】
- 外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。
- 一般に新興国の通貨は、先進国の通貨に比べて為替変動が大きくなる場合があります。

【カントリー・リスク】
- 投資対象国における非常事態など（金融危機、財政上の理由による国自体のデフォルト、重大な政策変更や資産凍結を含む規制の導入、自然災害、クーデターや重大な政治体制の変更、戦争など）を含む市況動向や資金動向などによっては、ファンドにおいて重大な損失が生じるリスクがあり、投資方針に従った運用ができない場合があります。
- 一般に新興国は、情報の開示などが先進国に比べて充分でない、あるいは正確な情報の入手が遅延する場合があります。

【有価証券の貸付などにおけるリスク】
- 有価証券の貸付行為などにおいては、取引相手先リスク（取引の相手方の倒産などにより貸付契約が不履行になったり、契約が解除されたりするリスク）を伴ない、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。貸付契約が不履行や契約解除の事態を受けて、貸付契約に基づく担保金を用いて清算手続きを行なう場合においても、買戻しを行なう際に、市場の時価変動などにより調達コストが担保金を上回る可能性もあり、不足金額をファンドが負担することにより、その結果ファンドに損害が発生する恐れがあります。

＜中国企業の人民元建株式におけるリスクおよび留意点＞

◆回金遅延リスク
- 中国の国家外貨管理局（SAFE）はその裁量で中国の外貨収支残高状況などを理由として、日本国内への元金および収益の送金を規制することができます。したがって、想定したスケジュール通りに信託財産の回金が行なえない可能性があります。回金が遅れる場合は、ファンドにおいて、換金代金等の支払いが遅延することがあります。

◆証券市場を取り巻く制度および制約
- 中国の証券市場および証券投資に関する枠組み（決済システムなど市場インフラを含みます。）には、様々な制限および制約があります。これらの制限および制約は、大部分が中国証券監督管理委員会（CSRC）および国家外貨管理局（SAFE）の裁量によって行なわれます。
- 海外からの投資規制や海外への送金規制などの種々の規制が緊急に導入されたり、あるいは政策の変更などによる新たな規制が設けられた場合には、投資対象市場が著しい悪影響を被る可能性があります。

＜円換算したCSI300指数と基準価額の主なカイ離要因＞

当ファンドは、基準価額の変動率を円換算したCSI300指数の変動率に一致させることをめざしますが、当ファンドおよび投資対象とする投資信託証券には、次のような要因があるため、同指数と一致した推移をすることをお約束できるものではありません。
- 資金の流入から実際に投資信託証券を買い付けるタイミングのずれの発生。
- CSI300指数の採用銘柄以外の銘柄に投資をすることがあること、CSI300指数の採用銘柄の変更や資本異動などによってポートフォリオの調整が行なわれる場合、個別銘柄の売買などにあたりマーケット・インパクトを受ける可能性があること、また、信託報酬、売買委託手数料、監査費用などの費用をファンドが負担すること。
- 組入銘柄の配当金や有価証券の貸付による品貸料が発生すること。
- 先物取引等のデリバティブ取引を利用した場合、当該取引の値動きCSI300指数の採用銘柄の一部または全部の値動きが一致しないこと。

◇金融商品取引所で取引される市場価格と基準価額のカイ離

当ファンドは東京証券取引所に上場され公に取引されますが、市場価格は、主に当ファンドの需要、当ファンドの運用成果および投資者が代替的な投資と比較して当ファンドが全般的にどの程度魅力的であるか、などに左右されます。したがって、当ファンドの市場価格が、基準価額を下回って取引されるかまたは上回って取引されるかは予測することはできません。

※ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

■当資料は、投資者の皆様に「上場インデックスファンド中国A株（パンダ）E Fund CSI300」へのご理解を高めていただく事を目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

［マンスリーレポート］

2024年3月31日

上場インデックスファンド中国A株（パンダ）E Fund CSI300（1322）

＜上場パンダ（愛称） 追加型投信/海外/株式/ETF/インデックス型＞

● その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「上場インデックスファンド中国A株（パンダ）E Fund CSI300」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 当ファンドは、大量の解約が発生し、短期間で解約資金の手当てをする必要が生じた場合や、主たる取引市場において市場が急変した場合などに、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響をおよぼす可能性や、換金の申込みの受付を中止する可能性、換金代金のお支払が遅延する可能性があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。
- ETFを金融商品取引所で売買される場合には、委託会社作成の投資信託説明書（交付目論見書）は交付されません。売買をお申込みになる証券会社に、当該取引の内容についてご確認ください。
- 株式または金銭の拠出により当ファンドの取得（応募、追加設定）をご希望の場合には投資信託説明書（交付目論見書）を販売会社（指定参加者）よりお渡しいたしますので、必ず内容をご確認ください。

指数の著作権などについて

- CSI指数は、中証指数有限公司（China Securities Index Co.,LTD)によって計算されます。中証指数有限公司、上海証券取引所および深セン証券取引所はCSI300指数の正確性を確保するために一切の必要な手段を講じます。しかしながら、中証指数有限公司、上海証券取引所および深セン証券取引所は、過失の有無にかかわらず、CSI300指数のいかなる誤りについて、いかなる者に対しても責任を負わず、中証指数有限公司、上海証券取引所および深セン証券取引所は、CSI300指数のいかなる誤りについても、いかなる者に対しても通知する義務を負いません。
- 指数にかかわる価値や銘柄リストといった著作権は中証指数有限公司に属します。

■当資料は、投資者の皆様に「上場インデックスファンド中国A株（パンダ）E Fund CSI300」へのご理解を高めていただく事を目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。

日興アセットマネジメント株式会社　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号
加入協会：一般社団法人　投資信託協会、一般社団法人　日本投資顧問業協会